

開発目標

安価で資源的にも豊富な還元剤を用いて、比較的低温で二酸化炭素を分解し、高付加価値のナノ炭素材料を製造すると同時に水素も製造できる技術の実用化を目指している。本プロジェクト(2021～2026年度)では、プロセスを構成する各要素技術の確立と、ラボスケールからベンチスケールへのスケールアップ技術の検証を行う。

カーボンリサイクル技術の活用によるメリット

- CO₂排出量の低減(主に使用者のScope3)
- 原料の化石燃料由来の芳香族化合物、硫黄/窒素化合物、灰分等の環境に悪影響な物質を含有しない
- 原料枯渇の問題がなく、CN到来後も調達可能

